

2017年7月13日
日立金属株式会社

クラッド材の生産能力増強について

日立金属株式会社（以下、当社）は、拡大するクラッド材の需要に応えるために、株式会社SHカッププロダクツ（以下、SHカップ）にクラッド材の生産ラインを導入します。投資金額は約75億円です。これにより2020年度までにクラッド材事業の売上規模3倍（2016年度比）をめざします。

1. 投資の目的

クラッド材とは異なる金属を接合させることで、単一材料では得られない特性を持たせた複合材料です。主に自動車の熱交換器や携帯端末の放熱部品、電池の電極、内部リード、集電箔など幅広い分野で使用されています。

当社の特殊鋼事業は、工具鋼、産業機器材料、電子材料に加え、航空機・エネルギー材における成長戦略を展開し、グローバル市場で成長をめざしています。なかでもクラッド材を手掛ける電子材料は、電気自動車や携帯端末などの分野で需要が拡大しており、大きな成長が期待できます。こうした中、2017年7月1日付でSHカップを電線材料カンパニーから特殊鋼カンパニーに移管し、伸銅事業の強化を進めるとともに、2018年4月1日付で株式会社日立金属ネオマテリアル（以下、日立金属ネオマテリアル）を存続会社として両社を統合し、SHカップを統合新会社の土浦工場とするなど、クラッド材事業の強化に向けた施策*を進めています。

今般、SHカップをクラッド材の新たな供給拠点とし、生産体制を強化するために、クラッド材の生産ライン導入を決定いたしました。SHカップに新たに導入する生産ラインは、素材から加工まで一貫で製造する日立金属ネオマテリアルの体制を受け継ぎながら、さらに広幅化による合理化をめざしたラインです。

今後、当社グループは、顧客ニーズに対応する品揃えの拡充、生産能力の増強、販売体制の強化といった成長戦略の実行により、2020年度までにクラッド材事業の売上規模3倍（2016年度比）をめざします。

2. 投資の概要

- (1) 導入拠点：株式会社SHカッププロダクツ
(2018年4月1日以降は、日立金属ネオマテリアルの土浦工場)
- (2) 導入設備：圧接機、圧延機など
- (3) 投資金額：約75億円
- (4) 稼働時期：2018年度下期

以上

* SHカップと日立金属ネオマテリアルの統合については、2017年5月29日に発表した「クラッド材事業強化に向けSHカッププロダクツと日立金属ネオマテリアルを統合」もご参照下さい。

【報道機関からのお問い合わせ】日立金属株式会社 コミュニケーション室 担当 吉原 TEL 03-6774-3073